

デジタル機器導入施設 リアン文京

【施設概要】

運営法人: 社会福祉法人武蔵野会

住所: 東京都文京区小日向2-16-15

対象: 知的障害者 身体障害者

定員: 施設入所支援 40名

生活介護 45名 (5名重心)

短期入所 10名



1 導入機器

分類	製品名	台数	導入の理由
見守り支援機器	Vital Beats Care Patrol	20台	・重度、高齢化する居室内の利用者の離床・バイタル状況を支援員室から把握し、支援業務の効率化や医療連携の強化を図るため。
	VPドームカメラ(ALSOK)	12台	・廊下等、死角で発生した事故について、その発生状況を映像で確認し、 原因分析や家族説明に活かす ため。
情報共有、業務効率化のための通信機器等	iPod Touch Care Palette	70台	・入所と通所職員間で情報共有し、 連携を強化 するとともに、記録システムを導入するなど、 業務の効率化を図る ため。
	服やっくんシステム	一式	・新たに処方された 薬の飲み忘れ防止等 服薬事故の防止及び服薬支援の効率化を図るため。
通信環境整備	無線LANの増設	一式	・上記機器を 施設内どこでも使えるよう 、どこでもインターネットに接続できる環境を整備。

2 実施体制

- ・PT設置：施設長、次長、部門課長
- ・リーダー：部門係長 主任
- ・メンバー：支援員

3 課題整理

- ・利用者の重度・高齢化が進む中で、身体及び知的障害者を受け入れており、健康管理にあたっては、**正確なバイタルデータに基づく医療連携**が重要となっている。
- ・支援員の死角で発生した事故については、**発生原因の把握が困難**であり、再発防止策の検討や家族説明を十分に行うことができない。
- ・現行は、職員間の情報共有は、**連絡帳(書面)で実施**するなど、非効率である。
- ・日々服薬量に変更がある頓服薬の飲み忘れ等、**ヒヤリハット**が発生している。

4 導入効果

- ・「Vital Beats・Care Patrol」の導入により、一部の利用者については、**バイタルや離床状況等を支援員室等から確認**できるようになった。
- ・「VPドームカメラ」の導入により、発作を起こした利用者の**映像を基に、医師の診察**を受けることができた。また、転倒事故が発生したが、映像により状況を確認できた。
- ・「服やっくん」の導入後は、薬の取り間違えや飲ませ忘れは発生していない。
- ・「iPod Touch及びcarepallet」の導入により、支援記録の入力と同時に職員間での情報共有が可能となり、**情報の速達性、支援記録作成業務の効率化**が図られた。

5 機器導入後の課題と解決策

- ・Vital Beats,Care Patrol導入で一定の情報は確認できるが、誤通知が多い。**センサーの感度**や他の機器の使用状況も踏まえた**通信環境の見直し**により対応している。
- ・上記課題はメーカーにも相談しているが、新型コロナウイルス感染症や半導体不足等の影響により、思うように改善が進んでいないため、粘り強く対応を依頼している。
- ・iPod Touchは、持ち出しが容易であり、紛失リスク等もあるため、**原則持ち出し禁止**とし、情報管理については更に意識を高めていく必要がある。